

みつui病院便り 第20号

玉野三井病院

平成19年2月


〒706-0012 岡山県玉野市玉3-2-1 TEL: 0863-31-4187 FAX: 0863-23-2084
URL: <http://www.harenet.ne.jp/tamano-mitsui-hp/> E-mail: mitsuihp@mes.co.jp




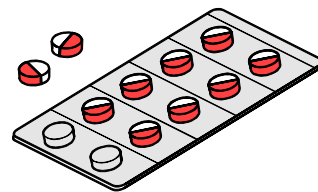
ジェネリック医薬品について

薬局長 山本 慎二

世界に例を見ないスピードで深刻化する、わが国の高齢化社会に対する施策の一つとして、政府は医療費適正化と言う名目で、後発医薬品（以下ジェネリック）の導入を促進しています。しかしながら、ここには考えるべき点がいくつかあると思いますので以下に説明致します。

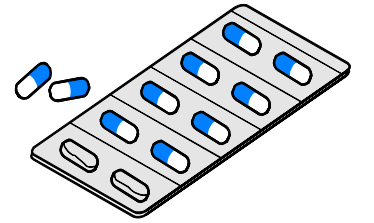
 **第一に、まるで窓口の支払いが半分になるようなCMであると言う点です。** 窓口での支払いには、医師の技術料・検査料なども含まれているので、薬代が半分になっても支払いが半分になるわけではありません。

 **第二に、先発品とジェネリックが全く同じものか？** と言う点です。ジェネリックとは「先発品と有効成分が同一であり、投与経路、用法・用量、効能・効果が同一の医薬品」と定義されるものですが、その効能の証明は十分になされているのでしょうか？




ジェネリックは既に先発品で、その有効性・安全性が証明されているとして、承認申請に必要な添付資料は、先発品の申請時のものと比較すると非常に少なくなっています。またその中で最も大切とされる生物学的同等性の試験についても、わが国においてはアメリカのように公的な機関ではなく、製薬メーカーが自ら行っており厚生労働


省や第三者機関による検証を必要としません。そしてその結果に関しても最高血中濃度などは同じでも、そこへの到達時間にかなりの差のある製品なども存在し、薬によっては作用・副作用などに差が出るために明らかに変更できない種類の薬もあります。また添加剤の違いや不純物の混入による副作用の可能性もありますし、一口にジェネリックメーカーと言っても数多くありメーカー間の格差もあると思います。



 **第三に、ジェネリックの情報の少なさがあります。**

ジェネリックの場合医薬品情報担当者が少ないため情報の提供量が少なく、また電話による質問への返答についても全く答えられないとか、おそらく先発メーカーに聞いて返答をしていると思われるメーカーもあります。

 **第四に、すべての薬にジェネリックが存在するわけではありません。** 特に新しい薬にはジェネリックはないので最新の医療を提供しようとする、ジェネリックの使用率は下がります。当院では新薬の採用が早いのでジェネリックの存在しない薬が多く使われています。

 **上記のように、考慮すべき点がありますが、患者様の負担軽減は第一に考えるべきことですので、品質・治療効果・添加物の問題・安定供給などについて十分な検討をおこない、数年前からジェネリックの導入を始めており、今後もさらなる採用を進めてゆく予定です。**



患者様の権利について

私たちは患者様の権利を尊重し、信頼関係を築き患者様中心のあたたかい医療の実践に努めます。

1. 患者様の意思を尊重し満足される医療を提供いたします。
2. 治療の説明を受け、選択や拒否ができるように致します。
3. プライバシーを尊重いたします。

病院理念

1. 21世紀における最も大切な人間の生活の質を向上させる医療を分担する。
2. 患者様に優しい医療、インフォームドコンセントを重視した医療を提供する。
3. 全職員が医療人としての使命感と誇りを持った医療を心掛ける。

院内での携帯電話の使用について

いままで院内では、ペースメーカーや医療機器への影響の懸念から、携帯電話の使用を差し控えていただいております。しかし最近の調査によりますと、安全な場所での使用に関しては問題ないと考えられます。

そこで当院では、院内での携帯電話の使用について、次のようなルールのもとに、2月より使用できるようにいたしました。

次の場所では、電源を切ってください。

診察室、処置室、手術室、看護師詰所、重症個室、検査室、

その他1メートル以内に医療機器があるところ。

上記を除く院内では、必ずマナーモードにしてください。

通話は「通話のできる場所(通話可能エリア)」でお願いします。



電源 OFF エリア



マナーモードエリア



通話可能エリア

- ・ 1階正面玄関横公衆電話内・2階病棟談話室
- ・ 3階病棟談話室・4階病棟給湯室付近・南病棟面談室

南病棟クリスマス会開催

南(療養)病棟では日常のレクリエーションの他に季節の行事を開催させていただいております。毎年恒例になりました、クリスマス会を12月22日に開催いたしました。みんなで歌を歌ったりして楽しいクリスマス会でした。当院医師が扮するサンタクロースが、患者様にクリスマスプレゼントを手渡し、また娛樂室に出られない患者様には、ベットサイドに訪問しプレゼントを手渡しいたしました。



玉野市医師会—臨床研究会

1月14日に当番世話人を才野院長が努めた臨床研究会がダイヤモンド瀬戸内マリソホテルにて行われました。当院からの発表は順番に下記の通りでした。

- ・ ヘルニア根治術における各種メッシュの使用経験
外科医長 村主 崇能
- ・ II型糖尿病患者の睡眠障害に対する低血糖発作の影響についての検討
薬剤科 磯谷 嘉宏
- ・ 混合型アナログインスリンの使用経験
内科医長 藤原 隆行
- ・ 針刺し事故 HIV感染予防策に関して
副院長 三宅 三喜男



避難訓練・初期消火訓練実施

11月に、避難誘導、初期消火訓練を実施しました。目的は関係職員の協力で迅速且つ適切な通報、避難誘導、初期消火の訓練を実施する事により、火災に対する防火技術の向上と知識の高揚及び連絡協調の確立を図ることです。



嘔吐・下痢が全国的に猛威を振るっています。

発熱・下痢・嘔吐などの症状のある方(または治ったばかりの方)の入院患者様への面会は堅くお断りしています。また、健康な方でも、各病室入口に設置しております消毒液を1回プッシュして手にとり、よくすり込んで下さい。(出来れば手洗いの方が有効です。)また、インフルエンザにも充分お気をつけください。

